



## 1節 武士の台頭と鎌倉幕府

1 武士の成長

2 武家政権の成立

- (1) 10世紀になると武士は、家来をまとめて( )をつくった。
- (2) 10世紀中ごろに、関東で反乱を起こした人物。
- (3) 10世紀中ごろに、瀬戸内海地方反乱を起こした人物。
- (4) (1)の中でも天皇の子孫である( ① )と( ② )の勢力が有力だった。
- (5) 武士の成長により、新しい政治が求められ( )天皇が位について改革を行った。
- (6) (5)天皇の後を受けた人物。
- (7) (6)は位をゆずって何になったか。
- (8) (6)の人物がおこなった政治を何というか。
- (9) 武装する僧のことを何というか。
- (10) このころ政治の実権をめぐる争いから( )の乱と平治の乱がおこった。
- (11) 平治の乱では、( )が源義朝を破って、勢力を広げた。
- (12) 平清盛は( )の院政を助けた。
- (13) 平清盛は武士としてはじめて何になったか。
- (14) 平氏を倒すために、鎌倉(神奈川県)を拠点に関東地方を支配した人物。
- (15) (14)の弟。
- (16) ( )(山口県)の戦いで(14)は平清盛をほろぼした。
- (17) (14)は1185年に国ごとに何をおいたか。
- (18) (14)は1185年に荘園や公領ごとに何をおいたか。
- (19) (14)が開いた武士政権の幕府。
- (20) 鎌倉に幕府が置かれた時代。
- (21) (14)は1192年に( )に任命された。
- (22) 将軍が領地を保護し、新たな領地を与えること。
- (23) 武士は( )として将軍に忠誠を誓う。
- (24) 戦いが起こったときに、生命をかけて軍役を果たす義務を何というか。
- (25) (14)の死後実権を握った人物。
- (26) (25)がついた地位。
- (27) (25)が行った政治。
- (28) 1221年に後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵をあげた乱。
- (29) その後、後鳥羽上皇を隠岐(島根県)に流し、朝廷を監視する上で京都に何をおいたか。

武士団

平将門

藤原純友

① 平氏 ② 源氏

後三条

白河天皇

上皇

院政

僧兵

保元

平清盛

後白河上皇

太政大臣

源頼朝

源義経

壇ノ浦

守護

地頭

鎌倉幕府

鎌倉時代

征夷大將軍

御恩

御家人

奉公

北条時政

執權

執權政治

承久の乱

六波羅探題